

2013 年度 兵庫県がん相談支援センター実務者ミーティング活動報告

2014 年 1 月 31 日

文責；兵庫県立がんセンター 看護部
がん相談担当看護師長 橋口周子

【2013 年度活動概要】

◆活動目標（2012 年度からの継続目標）

1. 事例検討を通じて実務者の相談技能の向上を図る
2. 患者会と連携しながら相談支援センターの啓発を行う。

◆活動概要

事例検討を中心に、講演や国・県のがん対策や国の情報連携・相談支援部会で得られた情報について発信を行った。その他、兵庫県がん患者連絡協議会の講演、相談実務者の相談技術のレベルアップを目的として研修会を開催した。

◆各会議の内容

実務者ミーティング 3 回、事務局会議は、3 回開催した。各会議の概要は以下に記載する。

<がん相談支援センター実務者ミーティング> 会場；全て、県立がんセンター

◇第 17 回会議 2013 年 6 月 8 日（土） 13:30～16:15 担当；西脇市民病院 出席者：19 名
（内容）；相談技術のレベルアップを目的とした研修会

- ・各実務者の担当した相談場面を逐語録におこし、小グループで対応内容について検討をし、自身の対応の傾向を振りかえりを行った。

◇第 18 回会議 2013 年 9 月 14 日（土） 13:30～15:30 担当；神戸大学医学部附属病院
出席者：50 名

（内容）兵庫県がん患者連絡会との意見交換会

- ・講演；がん診療連携拠点病院との連携とがん相談支援室に望むこと
講師；ひょうごがん患者連絡会 事務局長 武内務氏
- ・意見交換；ピアサポーターの役割や具体的活動、活動において留意されていること、患者側から相談支援センターとの連携において望むことについて。

◇第 19 回会議 2012 年 12 月 14 日（土） 10:30～12:30 担当；赤穂市民病院 出席者：40 名
（内容）

- ・事例検討；幼い子供に、病気であることや予後が厳しいことなどを伝えきれず看取りとなった女性患者への関わりについて

◇第 20 回会議（予定） 2013 年 3 月 8 日（土） 13:30～ 担当；公立豊岡病院
議題；事例検討、H26 年度の事業計画案の共有

<がん相談支援センター実務者ミーティング事務局会議>

◇第 3 回会議 2013 年 8 月 6 日（火） 9:30～11:30 於）兵庫県庁 1 号館会議室
（内容）

- ・兵庫県民アンケート調査結果を踏まえたがん相談支援の取り組み課題の共有
- ・9 月 14 日の実務者ミーティングでのひょうごがん患者連絡会との交流会の打ち合わせ

◇第4回会議 2013年8月9日(金) 9:00~12:00 於) 県立がんセンター

(内容)

- ・第17回実務者ミーティングで実施した研修会の評価と相談新指導者フォローアップ研修の準備

◇第5回会議 2014年1月28日(火) 13:00~15:00 於) 県庁会議室

(内容)

- ・相談室でのピアサポートの活用について、患者団体との意見交換

補足①；都道府県型がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報連携・相談支援部会 第2回会議

日時；2013年5月13日(月) 13:00~16:00 於) 国立がん研究センター

出席者；森田瑞穂先生(情報連携部会長：神戸医療センター)、池垣淳一先生(都道府県型拠点病院責任者：県立がんセンター)、橋口周子(相談支援実務者：県立がんセンター)

内容：「情報提供および相談支援センターの活動のあり方に関するアンケート」結果を踏まえた、部会での検討事項と都道府県型がん診療連携協議会より厚生労働省ほか関係検討会への提言事項の共有と検討を行った。

結果、提言事項については、がん診療連携拠点病院機能強化事業におけるがん相談支援事業の相談件数の新たな算定基準や名称の統一など4項目を、部会での検討課題として、都道府県および全国レベルで整備すべき体制と必要要件や評価の在り方など3項目が提示された。

補足②；国立がん研究センター がん対策情報センター主催 がん相談支援指導者フォローアップ研修への参加

日時；2013年9月6日(金)、7日(土)

参加者：北山さゆり(姫路赤十字病院)、渡部昌美(関西労災病院)
橋口周子(県立がんセンター)

内容；各地域の相談員への教育活動についての取り組みと課題の共有、
就労支援に関するセミナーの受講

【評価】

目標①について

- ・事例検討会では困難事例についてグループで検討する中で、相談者の気持ちに寄り添った相談実務者の関わりを認めると共に、問題点については明確化し、家族への介入や院内他部門・他部署との連携の必要性について積極的に意見交換ができた。このような事例検討を継続して行うことで、相談実務者のスキルアップにつながると考える。
- ・相談技術のレベルアップを目的とした相談実務者研修に於いては、面談場面の振り返りを行い、自己の対応の傾向を捉えることにより、その後の面談に生かすことができた。また、他の相談員の面談技術を知ることで良い刺激になった。相談技術のレベルアップを到達する為には、今後も継続した研修会開催が必要である。

目標②について

患者会とがん診療連携拠点病院の連携を目指し、患者会の活動内容や、がん相談支援センターへ望まれていることを把握する為に、患者会による講演会を開催した。講演や意見交換の中で、拠点病院におけるピアサポーターによる相談実施についての提案があったが今年度実施には至らなかった。更に意見交換を重ね、次年度はピアサポーターが活動できる場の提供と支援を行うための体制作り

を進めていく方針。

その他

- ・継続的に実務者ミーティングを開催し、国・県のがん対策についての情報を共有することにより、各相談支援センターが同じ方向に向かって取り組むことができた。
- ・H25年8月の県民モニターのアンケート調査では、がん情報の取得を相談支援センターから行っている割合が、全国平均よりも低値であり、周知活動が必要なことが示唆されたが、具体的な活動については、持越し課題となった。

【2014年度活動について】

◆年間目標◆

1. 患者会と連携し、ピアサポートの実施を行うことにより、がん患者の療養生活の質の維持向上を図る。
2. がん相談支援センターの存在と役割について、地域への周知を図る。
3. がん相談支援センター間の情報共有と相談実務者の面談技術の向上により、がん相談支援センターの質の向上を図る。

◆活動計画◆

1. 方針

がん相談実務者ミーティングは、年4回開催で継続していく。

2. 計画内容詳細

①患者活動の支援

- ・患者会との意見交換会の実施

1回/年に開催し、意見を相談支援マニュアル改訂に反映させるなど相談支援に生かす。

- ・ピアサポートの実施

ひょうごがん患者連絡会と連携して、ピアサポーターが活動できる場の提供と支援を行うことにより、がん患者の療養生活の質の維持向上を図る。

- ・患者サロンの活動促進

がん診療連携拠点病院に積極的に患者サロンを設置し、活動の支援を行う。

②がん相談支援センターの地域への周知活動

相談支援センターの存在と役割の周知を目指し、地域での出前講演や相談会を開催する。

③相談実務者の教育機能の強化

- ・事例検討会の実施（2回/年）

- ・がん相談支援指導者フォローアップ研修参加者による研修会の開催（1回/年）